



ロータリー財団の標語

「世界でよいことをしよう」

Doing good in the world

2630

1 国際ロータリーのロータリー財団



ロータリー創設者
ポールハリス
(1868~1947)



ロータリー財団の父
アーチ・クラフ
(1869~1951)

ロータリー財団は国際ロータリーに併設された財団法人です。

1917年、アーチ・クラフが基金設立を呼びかけて以来、100年を超える歴史を有しています。

国際ロータリーは会員からの会費によって支えられ、ロータリー財団はロータリアンや篤志家からの尊いご寄付によって支えられています。

2 ロータリー財団の使命

国際ロータリーの使命

職業人と地域社会のリーダーのネットワークを通じて人々に奉仕し、高潔さを奨励し、世界理解、親善、平和を推進することです。

ロータリー財団の使命

ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。

3 ロータリー財団への寄付金と補助金事業

ロータリー財団の寄付金と補助金のシェアシステムは、2013-2014年度に発表されました「未来の夢計画」から始まり本年度で9年目を迎えます。

2630地区において、現在までに実施されました地区補助金・グローバル補助金による奉仕事業総数は234件、奨学金による留学生は27名、その財団活動資金の総金額は約133万ドル（約1億4千7百万円）という大きな成果を積み重ねていただきました。

このように2630地区の多くのクラブが補助金を利用して地域や世界の人道奉仕に貢献されています。

4 寄付金の種類と目標額（地区目標）

年次基金寄付 目標額150ドル/人

Every Rotarian Every Year (EREY) :日本では「あなたも毎年150ドルを」
現在日本の全34地区の年次基金寄付目標は会員一人当たり150ドル
(2020~2021年度地区実績 137.2ドル 前年度143.3ドル)

使途指定寄付 目標額 30ドル/人

使い道を指定する寄付：ポリオプラス指定寄付目標は会員一人当たり目標30ドル
(2020~2021年度地区実績 20.1ドル 前年度28.9ドル)

恒久基金寄付 目標額1000ドル/クラブ

ロータリー財団が寄付された元本には手を付けず投資運用し、その収益を活動基金として分配（例、ベネファクターとして認証など）
(2020~2021年度地区実績 695.3ドル 前年度693.1ドル)

◎ロータリー財団への寄付は個人・法人ともに税制上の優遇措置を受けられます

①ポール・ハリス・フェロー

1,000



THE ROTARY FOUNDATION OF ROTARY INTERNATIONAL

NAME

is hereby named a

PAUL HARRIS FELLOW

in appreciation of tangible and significant assistance given for the furtherance of better understanding and friendly relations among peoples of the world.

Kalyan Banerjee
Kalyan Banerjee
Chair, The Rotary Foundation Trustees

John F. Germ
John F. Germ
President, Rotary International

Rotary 

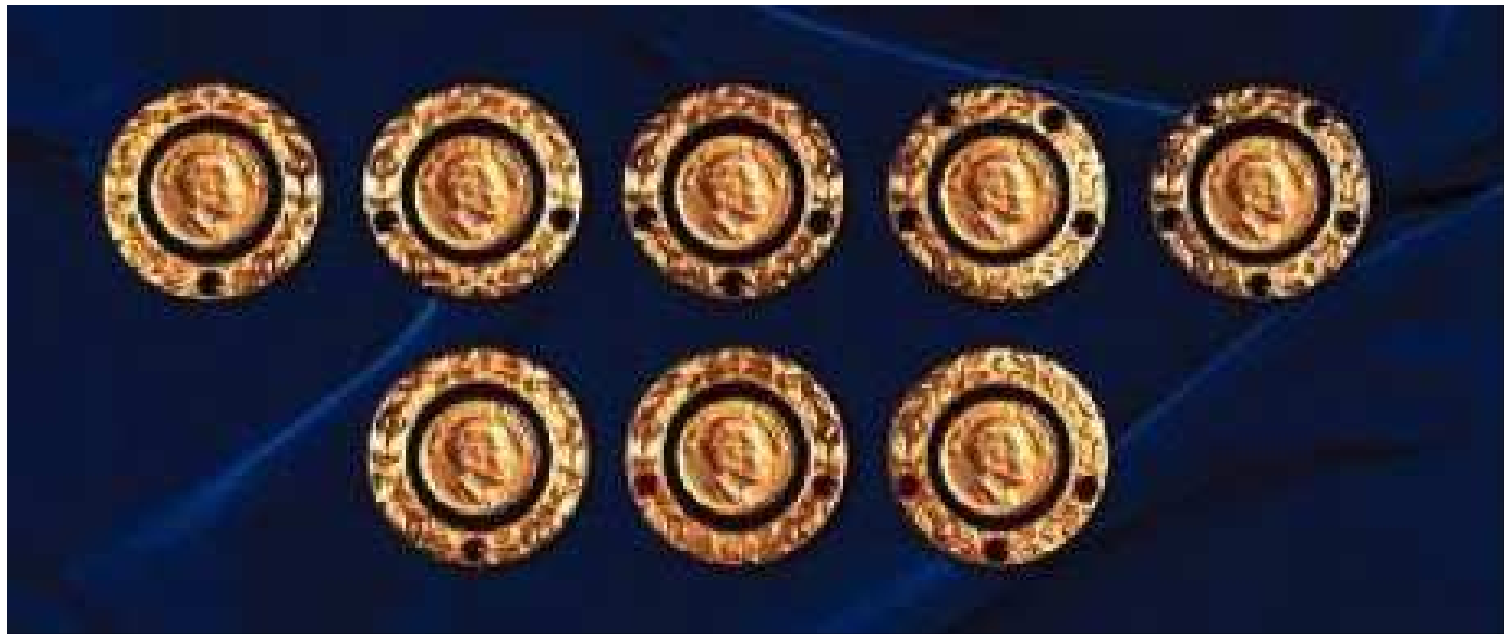
贈呈される襟ピン 



②マルチプル・ポール・ハリス・フェロー 2回目以降～8回迄

2,000
,000

8



感謝の意を表すための個人への主な認証

※認証状と特別な認証品が贈られます。

③ベネファクター

1,000

※ \$1,000



④メジャードナー(大口寄付者)



⑤アーチ・クラフ・ソサエティ

25

⑥レガシー・ソサエティ



⑦ポール・ハリス・ソサエティ



1,000

ロータリー財団の寄付＝未来への投資

「未来への投資」



ロータリー財団の補助金について

国際ロータリー第2630地区 ロータリー財団部門
地区補助金小委員会 委員長 本弘 路可

1. 補助金のあらし

- ①補助金制度とは ②補助金の財源 ③シェアシステム ④補助金の仕組（地区補助金・グローバル補助金）
- ⑤補助金を使うには複数年準備が必要 ⑥補助金利用状況 ⑦アンケート

2. 地区補助金について

- ①地区補助金の流れ ②地区補助金の対象となる事業とは？ ③地区補助金支給規定とスケジュール
- ④地区補助金担当委員会からのお願い ⑤補助金小委員会の役割 ⑥地区補助金のNG
- ⑦年度地区補助金採択状況

3. グローバル補助金について

- ①グローバル補助金（GG）とは（重点分野） ②グローバル補助金使用条件
- ③グローバルプロジェクトの資金計画 ④グローバル補助金のステップ ⑤地区のグローバル補助金利用例
- ⑥グローバル補助金の注意点 ⑦VTTについて

4. 奨学金・学友について

- ①グローバル奨学金と地区奨学金の比較 ②グローバル奨学金 ③地区奨学金 ④ロータリー財団学友会

2019～2020年度財団寄付（EREY）

グループ	クラブ名	会員数	年次基金額	1人当り年次寄付 EREY
桑員	桑名	41	\$3,900.00	\$95.12
	桑名西	36	\$6,105.85	\$169.61
	桑名中央	31	\$4,650.00	\$150.00
	桑名北	31	\$4,500.00	\$145.16
	グループ小計(4)	139	\$19,155.85	\$137.81
四日市	四日市	95	\$19,823.19	\$208.67
	四日市北	24	\$3,346.73	\$139.45
	四日市西	72	\$11,900.66	\$165.29
	四日市南	41	\$9,300.00	\$226.83
	四日市東	39	\$5,550.00	\$142.31
	グループ小計(5)	271	\$49,920.58	\$184.21
鈴鹿・亀山	鈴鹿	69	\$12,388.02	\$179.54
	鈴鹿西	39	\$6,953.29	\$178.29
	鈴鹿ベイ	12	\$1,800.00	\$150.00
	亀山	12	\$2,250.00	\$187.50
	鈴鹿シティ	68	\$15,039.00	\$221.16
	グループ小計(5)	200	\$38,430.31	\$192.15
中勢・伊賀	津	63	\$11,752.44	\$186.55
	上野	39	\$1,900.00	\$48.72
	名張	34	\$3,843.49	\$113.04
	津南	50	\$5,449.41	\$108.99
	津北	49	\$8,981.11	\$183.29
	上野東	40	\$6,018.67	\$150.47
	久居	27	\$8,606.87	\$318.77
	名張中央	24	\$1,673.71	\$69.74
	グループ小計(8)	326	\$48,225.70	\$147.93
松阪・東紀州	松阪	77	\$11,700.19	\$151.95
	松阪東	61	\$9,300.00	\$152.46
	熊野	33	\$3,300.00	\$100.00
	尾鷲	13	\$2,148.22	\$165.25
	松阪山桜	36	\$5,705.60	\$158.49
	グループ小計(5)	220	\$32,154.01	\$146.15
伊勢・	伊勢	61	\$5,095.00	\$83.52
	鳥羽	31	\$4,650.00	\$150.00
	伊勢南	45	\$2,876.29	\$63.92

④補助金の仕組み（地区補助金・グローバル補助金）

地区補助金

- *奉仕プロジェクト、奨学金に利用できる クラブ拠出金は500ドル以上
- *申請3年前のクラブの年次基金寄付（EREY）により支給割合が決まる
- 1. 地元、海外（ロータリークラブの無い国も可）を問わず比較的小規模なプロジェクトに使用できる
- 2. 地区が補助金を管理し、短期の1度のみのプロジェクト
- 3. 補助金申請限度は12,000ドル

グローバル補助金

- *奉仕プロジェクト、奨学金等に利用できる クラブ拠出金は500ドル以上
- *申請3年前のクラブの年次基金寄付（EREY）により支給割合が決まる
- 1. 実施国のロータリークラブと援助国のクラブや地区が共同提唱
- 2. 7つの重点分野のいずれかに関していること
 - ①平和構築と紛争予防 ②疾病予防と治療 ③水と衛生 ④母子の健康
 - ⑤基本的教育と識字率向上 ⑥地域社会の経済発展 ⑦環境
- 3. 総額3万ドル以上のプロジェクト
- 4. 地区財団活動資金(DDF)に国際財団活動資金(WF)が80%上乗せされる

EREY：1人150ドル以上を目標とした年次基金寄付

⑥補助金利用状況

プログラム実施年度	地区補助金				グローバル補助金			
	奉仕プロジェクト		奨学金		地区補助金総額	奉仕プロジェクト	奨学金	VTT
	申請	採択	申請	採択				
2013-14年度	21	21	2	2	\$104,855	2	0	なし
2014-15年度	34	30	募集なし		\$85,705	0	0	なし
2015-16年度	25	24	3	1	\$94,600	0	1	なし
2016-17年度	21	21	2	2	\$102,511	4	0	なし
2017-18年度	26	26	1	1	\$108,534	0	1	なし
2018-19年度	18	17	2	2	\$117,258 (\$93,426)	1	3	なし
2019-20年度	22	22	3	3	\$178,749	1	1	なし
2020-21年度	22	22	1	1	\$124,157	4	4	なし
2021-22年度					\$124,500 (申請限度額)			

2. 地区補助金について

地区補助金の流れ 2/5

地区補助金事業の全体の流れを理解してください

- 本日以降、補助金事業の計画に着手する。
- 2021年12月頃、地区補助金申請を作成する。
- 2022年1月31日までに申請書を提出する。
- 2022年8月頃、地区補助金を受け取る。
- 2022年7月から2023年3月までに事業を行う。
- 2023年4月末までに事業報告書を作成し、提出する。

2. 地区補助金について

地区補助金の流れ 3/5

クラブの現状を調べてください

ステップ1

2022-23年度実施事業のための補助金を調べる。

3年前（2018-19）のあなたのクラブのEREYは？

ステップ2

クラブ拠出金\$1,000の場合、補助金はどれだけ申請できるか？

Aクラブ(EREY100未満) (例) EREY=80 の場合

$$1,000 \times 0.8 = \$800 \quad (\text{MAX}2,000\$)$$

Bクラブ (EREY100以上150未満) EREY=140 の場合

$$1,000 \times 1.4 = \$1,400 \quad (\text{MAX}5,000\$)$$

Cクラブ (EREY150以上200未満) EREY=170 の場合

$$1,000 \times 1.7 \times 1.5 = \$2,550 \quad (\text{MAX}10,000\$)$$

Dクラブ (200以上) (例) EREY=220 の場合

$$1,000 \times 2.2 \times 2.0 = \$4,400 \quad (\text{MAX}12,000\$)$$

EREY：1人150ドル以上を目標とした年次基金寄付

2. 地区補助金について

地区補助金の流れ 4/5

市民の声を聞き、地域のニーズを感じてください

ステップ3

ロータリークラブにふさわしい事業となる住民へのサービスは有りませんか？
今までの事業でステップアップしてみるような事業はありませんか？

ステップ4

それらの事業の本来の目的を文章で表現してください。

これで申請準備の50%が完了です。

③2630地区補助金支給規定とスケジュール 1/2

地区内クラブへの地区補助金の支給は、3年前の年次寄付（EREY）への寄付額に応じて、支給額と支給限度額を決定します。

1. EREY100ドル未満の場合 （限度額2,000ドル）

地区補助金額＝「クラブ拠出金額」×「EREY達成率」

2. EREY100ドル以上150ドル未満の場合 （限度額5,000ドル）

地区補助金＝「クラブ拠出金」×「EREY達成率」

3. EREY150ドル以上200ドル未満の場合 （限度額10,000ドル）

地区補助金＝「クラブ拠出金」×「EREY達成率」×1.5

4. EREY200ドル以上の場合 （限度額12,000ドル）

地区補助金＝「クラブ拠出金」×「EREY達成率」×2.0

✓ EREY=0のクラブは参加資格がありません

EREY：1人150ドル以上を目標とした年次基金寄付

③2630地区補助金支給規定とスケジュール 2/2

◆2021-22年度に実施される事業へスケジュールは・・・

➤募集期間	2021年12月1日～2022年1月31日
➤審査	2022年3月10日ごろ
➤審査結果報告	2022年4月10日ごろ
➤ガバナーの承認	2022年4月20日ごろ
➤TRFに支給申請	2022年5月中旬
➤事業実施	2022年7月1日から2023年3月末
➤報告書提出期限	2023年4月30日まで

◆ロータリー財団研修セミナーに出席義務

- ロータリー財団研修セミナー（総論・補助金管理）10月17日（土）岐阜

※セミナー出席者は会長エレクト、幹事予定者、財団委員長予定者が相応しい



グローバル補助金について

国際ロータリー第2630地区 ロータリー財団部門
グローバル補助金・VTT担当 副委員長 道家 嗣 典

[グローバル補助金] ロータリーの重点分野

世界で必要とされる人道的な問題を重点的に取り上げる

- 平和構築と紛争予防
- 疾病予防と治療
- 水と衛生
- 母子の健康
- 基本的教育と識字率向上
- 地域社会の経済発展
- 環境の保全(2021年7月より)

グローバル補助金を利用するには

実施国と援助国のクラブで3万ドル以上のプロジェクト

- 地域社会のニーズを調査
- 贈呈する物品の調達方法
- 贈呈した物品の維持管理・保守の方法
- 成果を持続させる方策
- 公共イメージの向上と、その広報の方法
- 成果の測定が可能であること



複数のクラブが資金の拠出に加わることもある

ご清聴ありがとうございました